

2019年度SDGs未来都市等提案書(提案様式1)

平成31年 2月28日

串間市長
島田俊光

提案全体のタイトル	環境配慮型交流人口促進事業
提案者	宮崎県串間市
担当者・連絡先	

※改ページ

1. 全体計画（自治体全体でのSDGsの取組）

1.1 将来ビジョン

(1) 地域の実態

【地域特性】

(1) 地理的特性

串間市は、宮崎県の最南端に位置し、総面積は295.16km²、東部は日向灘、南部は志布志湾に臨み、都城市、日南市及び鹿児島県志布志市と隣接している。また、黒潮の影響により温暖な気候で、日照時間も長く海岸部には無霜地帯があり、亜熱帯植物が自生している。東部から南部に続く海岸線は延長77kmあり、その一部は日南海岸国定公園に指定されている。



(2) 自然環境(特別天然記念物等)

市内には豊かな自然が多数残っており、1つの特別天然記念物と3つの天然記念物を次のとおり有している。

ア「岬馬およびその繁殖地」

統治していた秋月家が軍馬養成のために都井岬を牧場として開き、その名残で現在も手つかずのまま「野生」の馬として生息している。

イ「都井岬ソテツ自生地」(特別天然記念物)

都井岬の南端にソテツ自生の北限として約3千本自生している。

ウ「幸嶋サル生息地」

日本のサル学発祥の地として有名な文化猿の島である。

エ「石波の海岸樹林」

日本の渚百選に選ばれ、亜熱帯植物が群生している。



ア「岬馬およびその繁殖地」



イ「都井岬ソテツ自生地」



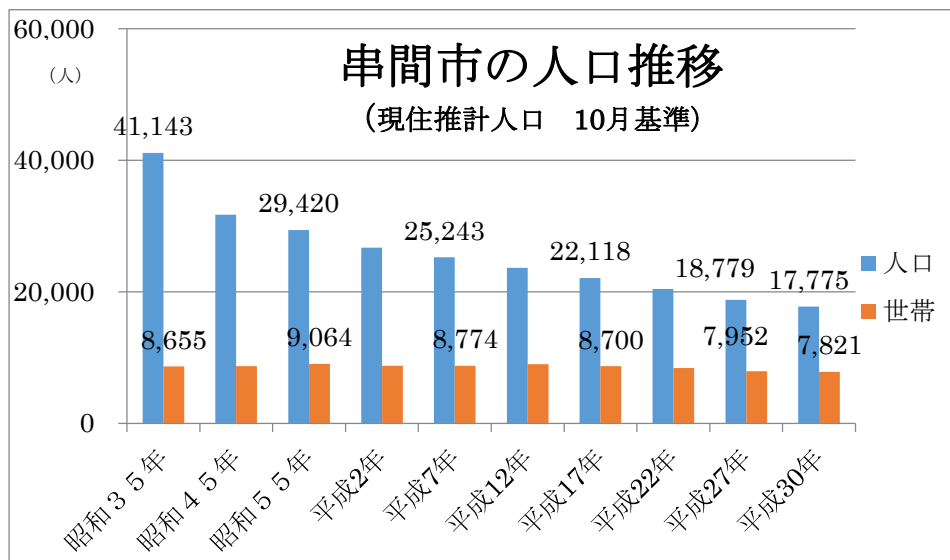
ウ「幸嶋サル生息地」



エ「石波の海岸樹林」

(3)人口

昭和30年の42,305人をピークに減少の一途をたどり、平成31年2月時点では17,679人(現住推計人口)となっている。少子高齢化、人口流出等により今後、さらに人口減少は進むものと予想されており、担い手不足による産業の衰退、集落維持の困難、空き屋・空き店舗の増加が課題となっている。



(4) 産業構造

① 第一次産業

本市は「かんしょ」や「水田ゴボウ」「きんかん」「養殖ぶり」「杉材」などが全国でも有数の生産額を誇る。

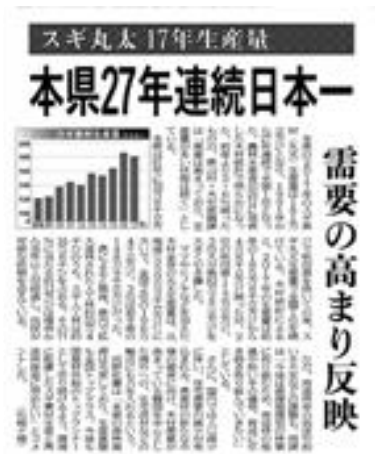
農業においては、平成28年度から国立大学法人宮崎大学(以下「宮崎大学」という。)と本市が協働で行った、「くしまオリジナルブランド認証推進に関する研究」において本市のブランドである「ヤマダイかんしょ」が平成30年8月6日に地理的表示(GI 認証)として登録され、長年に渡り生産者が試行錯誤し厳しい規格を確立してできたブランドが認められたところである。

林業においては、宮崎県は杉素材生産量27年連続日本一という実績があり、その中でも、本市に事務所を有する南那珂森林組合は、材積量取扱実績が全国トップクラスであることから、有数の林業生産地でもある。

漁業においては、市内事業者(丸栄水産株式会社)が昨年、ローマ法王へ謁見し養殖カンパチの加工品を献上しており、商品のクオリティーの高さを示したところである。



ヤマダイかんしょ



(ヤマダイかんしょと GI 登録証)

(宮崎日日新聞 スギ27年連続日本一記事)



(ローマ法王謁見の様子)



(献上されたカンパチの加工品)

②エコツーリズム

「岬馬およびその繁殖地」や「幸嶋サル生息地」などにおいて「馬追い」などによる御崎馬を保全する活動や、京都大学霊長類研究所による幸島文化猿の保護・観察など、先祖代々受け継がれてきた生物多様性を保全する活動が、エコツーリズムの理念に適合すると考え、平成26年に「串間エコツーリズム推進協議会」を設置し、「エコツーリズム推進法」に基づく、串間エコツーリズム推進全体構想の国の認定を目指し、平成29年2月に、九州で初となる国の認定を受けている。また、環境省において取組が評価され特別賞を受賞した。



(環境省での特別賞授与式)

③再生可能エネルギー施設

山脈を源とする豊富な水や樹木、長い日照時間等の豊富な自然環境を活かした、小水力発電、木質バイオマス発電、太陽光発電が稼働している。また、2021年に地中熱を利用した空調システムが計画されている「まちなかの道の駅」(仮称)、2020年には一定の風が安定的に吹く崎田地区から都井地区の稜線沿いに、九州最大規模の風力発電が稼働予定である。本市には豊かな自然を活かした再生可能エネルギー(以下「再エネ」という。)施設が多く存在している。

(市内の再生可能エネルギー施設概要)

種 類	発 電 規 模
風力発電	64,800 kW (2,850 kW × 23 基)
木質バイオマス発電	1,940 kW (181.5 kW × 10 基 + 125 kW (バイナリー発電1基))
小水力発電	450 kW
太陽光発電	12,000 kW (メガソーラー6箇所合計)
地中熱	まちなかの道の駅での空調として利用



(メガソーラー)



(木質バイオマス発電所)



(小水力発電所)

(5) 地域の協議会

商店街を含む中心市街地が人口減少とともに衰退していく中、串間市の活性化のために、国指定重要文化財である旧吉松家住宅の雰囲気にも合う「大正ロマンのまちづくり」を提唱する「くしままちづくり協議会」(以下「協議会」という。)が平成25年に発足。協議会は市民からの募金などにより、まちづくりの拠点・観光の発信地としてレトロ路面電車を串間駅前広場に設置。設置にあたっては、購入に至るまでの交渉、車両運搬、周辺工事等を地元建設業等の協力を得ながら、行政に頼らず全て協議会で行った。さらに、このレトロ路面電車や旧吉松家住宅と連携した多彩なイベントを開催しており、その取組が評価され、平成30年度「手づくり郷土賞」(国土交通省主催)を受賞されるなど、行政に頼らず市民主導による「賑わいの創出」と「持続可能な活動」を続けている。



(設置された路面電車)



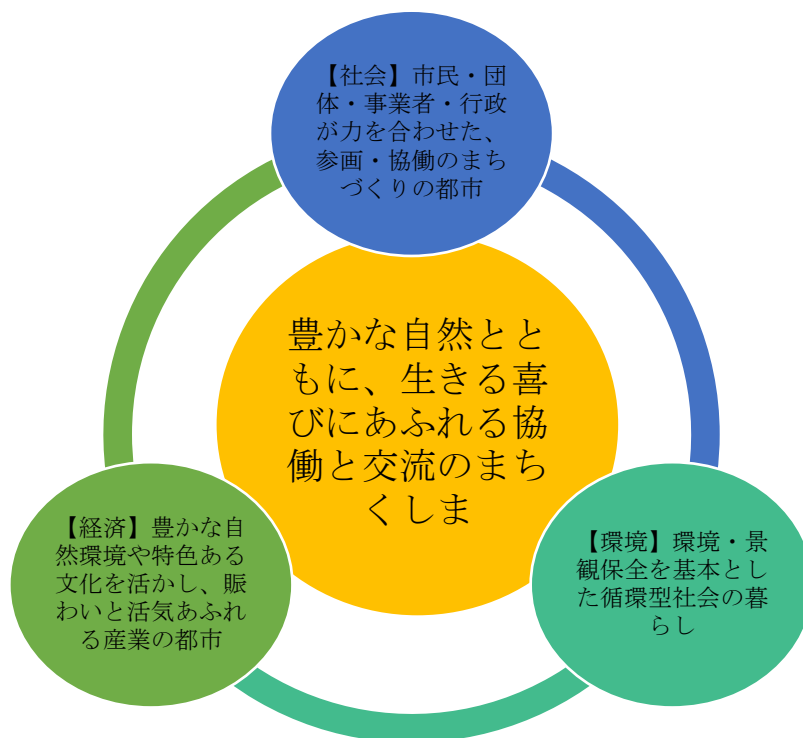
(路面電車を中心とした賑わいの創出)

【今後取組む課題】

上記の地域特性で掲げているとおり、本市は経済・社会・環境の分野においてポテンシャルを有していると考えますが、それぞれの取組のブラッシュアップや各取組を物理的につなぎ連動させ横展開及び稼ぐことによる持続可能性のための仕組みが弱いと思われる。また、少子高齢化、人口流出等による生産年齢世代の縮小など、マンパワー不足による地域としての活力低下も懸念される。

(2)2030 年のあるべき姿

【2030 年のあるべき姿】



【経済】豊かな自然環境や特色ある文化を活かし、賑わいと活気あふれる産業の都市

- ・市内全域において、再エネ施設の見学やエコツアーリズム等の取組が進むことにより、賑わいと魅力あふれる都市が実現している。
- ・2021年3月に「まちなかの道の駅」(仮称)がオープン予定であり、道の駅を中心とする地元事業者の積極的な参入による活気あふれる産業が実現している。

【社会】市民・団体・事業者・行政が力を合わせた、参画・協働のまちづくりの都市



- ・産業分野、防災分野、環境分野を中心とする人財育成に力を入れることにより、行政主導のまちづくりから行政と市民が連携して取組む、参画・協働のまちづくりが実現している。

【環境】環境・景観保全を基本とした循環型社会の暮らし

- ・市民向けの再エネ導入補助や環境学習講座に取組むことにより、市全体の低炭素化が図られ、環境に優しい都市が実現している。
- ・市民のみならず、市施設においても再エネの導入を進めることで、環境に配慮しつつレジリエンスな都市が実現している。

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

(経済)

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 8, 9	指標: 串間市観光入込客数	
	現在(2018年): 251,538人	2030年: 320,000人
 11, 4	指標: 市の環境保全の状況についての満足度(市民アンケート)	
	現在(2018年8月): 21.3%	2030年: 50%

「豊かな自然環境や特色ある文化を活かし、賑わいと活気あふれる産業の都市」を目指し、「エコツーリズム」と「再エネ施設見学」を連携させる。そのためにも、市街地に整備が進められている「まちなかの道の駅」(仮称)を核とした市内を循環する観光ルートの形成及び市内全体の経済の底上げとなる取組を推進し、持続可能な雇用を創出する。



◆ゴール8 ターゲット8. 9

都井岬等の国指定特別天然記念物等や再エネ施設を活用した質の高い観光業を確立する。

◆ゴール11 ターゲット11. 4

自然の保護・保全を強化することで、エコツーリズムや第一次産業の経済を高いレベルへ引き上げる。

(社会)

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 13, 1	指標: 自主防災組織結成率	
	現在(2019年2月): 90.85%	2030年: 100%
 4, 4	指標: 高校生の地元就職率	
	現在(2018年度): 50%	2030年: 50%(現状維持を目標)

「市民・団体・事業者・行政が力を合わせた、参画・協働のまちづくりの都市」を目指し、グローバル社会に対応出来るための国際交流や、頻発する災害に対する備えが必要であることから、様々な分野の人財育成に注力し、一人一人が力を合わせるまちづくりに取り組む。



◆ゴール13 ターゲット13. 1

若年層をはじめとした多様な世代に対し、災害に対する知識や技術を習得させ、被害を軽減させる。

◆ゴール4 ターゲット4. 4

株式会社宮崎銀行(以下「宮崎銀行」という。)等の様々なステークホルダーとの連携により、個々の技術やスキルを向上させ、グローバル社会に対応出来る人財の育成を行う。

(環境)

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 7, 2	指標: 新たな再生可能エネルギーの研究及び開発により設置された施設数	
	現在(2019年2月): 0箇所	2030年: 1箇所
 15, 2	指標: 再造林面積	
	現在(2018年): 119.55ha/年	2030年: 160ha/年

「環境・景観保全を基本とした循環型社会の暮らし」を目指し、官民挙げて再エネの積極的な導入や再エネ施設との協働によるツーリズムや社会学習の推進により循環型社会の推進に取り組む。

◆ゴール7 ターゲット7. 2

公共施設や一般住宅での再エネの導入を促進し、市全体のエネルギー需要量を削減する。

◆ゴール15 ターゲット15. 2

持続可能な森林経営及び保全並びに生物多様性の損失を阻止する。また、継続的に実施することで、エネルギーミックスにおける再エネの割合を拡大させる。





(社会学習の場としての小学生による林業体験)

※改ページ


1.2 自治体SDGsの推進に資する取組

※SDGs未来都市選定後の3年間(2019～2021年度)に実施する取組を記載すること。

(1)自治体SDGsの推進に資する取組		
①「経済」面での取組み		
「豊かな自然環境や特色ある文化を活かし、賑わいと活気あふれる産業の都市」		
ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 8, 9	指標: 串間に拠点を置く旅行業者数	
	現在(2019年2月): 0社	2021年: 1社
 11, 4	指標: エコツーリズム参加者数	
	現在(2019年1月): 2,152人	2021年: 2,500人
<p>1. 自然と再エネ施設を融合させたツーリズムの構築 関連するゴール8、ターゲット8. 9 本市の強みである、自然やその自然を活かした再エネ施設を点ではなく、面で繋げるため、「旅行業取扱管理者」を育成し、串間市の旅行会社設立を目指し、稼げる旅行商品の造成を行っていく。なお、本取組は自治体 SDGs モデル事業に記載している「SIT プロジェクト」の根幹となる取組である。</p> <p>2. エコツーリズム 関連するゴール11、ターゲット11. 4 地域の自然資源や生活文化を守りながら活用し、その恩恵を次世代に送り届けることを目的に、エコツーリズムで「人とのふれあい」と「体験」によって、地域の自然と文化を楽しみ、体感する旅(参加・体験型観光メニュー)を提供することで、地域(串間)ファンの獲得と郷土愛の醸成による地域の活性化を実現する。さらに、稼ぐことのできるメニューとすることで持続可能な地域を目指す。</p>		

②「社会」面での取組

「市民・団体・事業者・行政が力を合わせた、参画・協働のまちづくりの都市」

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 4, 1	指標: 中高一貫教育における「課題解決学習」の回数	
	現在(2019年1月): 0回	2021年: 10回
 4, 4	指標: タイにおける串間フェア期間内の特別メニュー販売数	
	現在(2018年): 430食	2021年: 500食
 13, 1	指標: 防災士合格者数	
	現在(2018年): 3名	2021年: 30名(2019~2021年合計)

1. 一貫した教育体制の整備

関連するゴール4、ターゲット4. 1

本市の教育において、課題解決能力、現実社会対応能力の育成に力を入れ、小学校から本市唯一の高校である宮崎県立福島高等学校(以下「福島高校」という。)までの間、学びの環境の充実を図り、多様な社会に適應できる人財の育成に注力する。

2. グローバル社会に対応できる人財の育成

関連するゴール4、ターゲット4. 4

タイ(バンコク)伊勢丹のフードコートにおいて、富裕層をターゲットとした串間フェアを開催し、特別メニューを販売することで現地における必要なニーズを把握することができる。そのことにより、本市に多い中小企業においても海外をターゲットとした商品化を促し、事業者のグローバル化を進めていく。

3. 大規模災害に対応できる人財の育成

関連するゴール13、ターゲット13. 1

福島高校で開催されている地域創生学で、災害時に対応できる人財の育成を目的に年間を通して授業を行っている。授業については市危機管理課が中心となり、自衛隊、海上保安庁、宮崎県警、宮崎地方気象台、日本赤十字串間支部、宮崎県防災士ネットワーク串間支部、串間市社会福祉協議会等による特別授業が開催されており、キャリア授業の側面も兼ねている。





(間仕切り組み立て訓練)



(自衛官による中高合同の防災講話)

③「環境」面での取組み

「環境・景観保全を基本とした循環型社会の暮らし」

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 7, 2	指標: 市内における急速充電器設置数	
	現在(2019年2月): 1カ所	2021年: 4カ所
 12, 8	指標: 再エネ普及に向けた市民向け講座の開催数	
	現在(2019年2月): 0回	2021年: 5回

1. 低炭素社会実現のための取組

関連するゴール7、ターゲット7. 2

再エネを市民一丸となって推進するため、太陽パネルと蓄電池設置への補助を行う。この補助については売電目的の太陽パネルの設置ではなく、自家発電・自家消費へと促すための補助を目的とし、低炭素社会の都市づくりを進める。さらに、市民のEVの普及を推進するとともに急速充電器の設置を検討し、EVオーナーが立ち寄りやすい社会を実現する。

2. 市民の意識向上に資する取組

関連するゴール12、ターゲット12. 8

小中学生を中心とした市民を対象に市内で稼働している再エネ施設の見学を実施することで、自然環境の保全・育むための心の醸成を促す。

(2)情報発信

(域内向け)

◆各種講座を活用したPR

市内にある公民館等で開催される講座を活用し、SDGs に関する出前講座を行うとともに、高校生や中学生向けの参加型ワークショップを開催し、SDGs の理念を身近に感じてもらう取組を展開する。



(公民館講座風景)

(域外向け (国内))

◆イベントを活用したPR

串間三大イベント「福島港花火大会」「都井岬火まつり」「串間市民秋祭り」において、SDGs 関連ブースやアナウンスによる告知を行うなど、市民への普及啓発を進めるとともに、来場者に SDGs 推進都市であることを強くPR する。



(都井岬火まつり)

◆その他の取組

市公式サイトや Facebook に SDGs の取組を掲載し、インターネットを利用した配信を積極的に行っていく。また、市職員の意識向上のためにも、SDGs バッジやロゴ入り名刺を作成し、配布を行っていく。

(海外向け)

本市は宮崎銀行との協働事業である「串間市海外戦略プロモーション事業」の一環としてタイで「串間フェア」を実施しており、そのフェアの様子は、現地メディアから多数取り上げられている。今年度はエコツーリズムや食といった本市の魅力を紹介したところであるが、次年度以降の事業展開では本市 SDGs の取組を紹介し、積極的な情報発信を行っていく。

สัมรสชาติอาหารแบบต้นตำรับในงาน "Kushima Fair 2019" นาย โนบุยูกิ ฮาโต้ ประธานกรรมการผู้จัดการใหญ่ บริษัท เอพอค จำกัด (epoc inc.) และ นาย โนบุยูกิ ฮิราโนะ กรรมการผู้จัดการใหญ่ ธนาคาร มิยะซากิ (The Miyazaki Bank, Ltd.) พร้อมด้วย นาย โทชิยุกิ ชิเมะตะ นาย กเทศมนตรี เมืองคุชิมะ จังหวัดมิยะซากิ ร่วมกันแถลงข่าวจัดงาน "Kushima Fair 2019" (คุชิมะ แฟร์ 2019) ณ Premium Japanese Food Hall "88 HACHI-HACHI SHOKUDO NIPPON" (ฮาจิ-ฮาจิ โชคุโด นีปปอน) ชั้น 5 ห้างสรรพสินค้า อิเซตัน เซ็นทรัลเวิลด์



(現地メディアの報道)

(3) 普及展開性(自治体SDGsモデル事業の普及展開を含む)

(他の地域への普及展開性)

地域の実態において前述しているように、本市は雄大な自然とそれを活用した再エネ施設が多数ある。この地域のポテンシャルを活かし再エネ施設とエコツーリズムを融合させた新しい旅行商品の造成を実施することとしており、この事業は環境に対する意識の醸成やCO2削減等に配慮すること等を趣旨として掲げるものである。

この環境に配慮した事業内容において、観光等の稼ぐことができる分野とマッチングすることにより持続可能性を高めるものであり、地元資源のブラッシュアップやCO2削減などは全国どの地域においても取り組むべき課題であることから、本市が先駆的に取り組み、他の自治体に普及展開するものである。

(自治体SDGsモデル事業の普及展開策)

上記に掲げた事業は、再エネ関連事業者や行政などの視察、社会科学習や修学旅行としての教育、一般の方々の観光等を想定しており、様々な層を対象として捉えている。また、再構築・再計画を行う予定である本市公共交通網によるエコな移動手段等で、さらに環境に対する取組を推進するとともに、それが一体となることによる連動した仕組を構築し、小規模自治体でのモデルケースとして位置付けたいと考えている。

このような取組等を推進することで、様々な地域から様々な層の方々が本市に訪れるものと考えており、多様なステークホルダーと連携することで情報発信力、集客力は増加すると考察している。また、当該事業は、観光が基軸となったものであることから事業内容が柔軟に調整できるため、エネルギー関連の視察であれば対象範囲を広げメニューを創ったり、姉妹都市・友好都市などとの食の連携など他地域と様々な形で展開できると考える。さらには先進事例として地位を確立できれば視察等によって自治体SDGsモデル事業の普及展開に大きく貢献できるものとする。

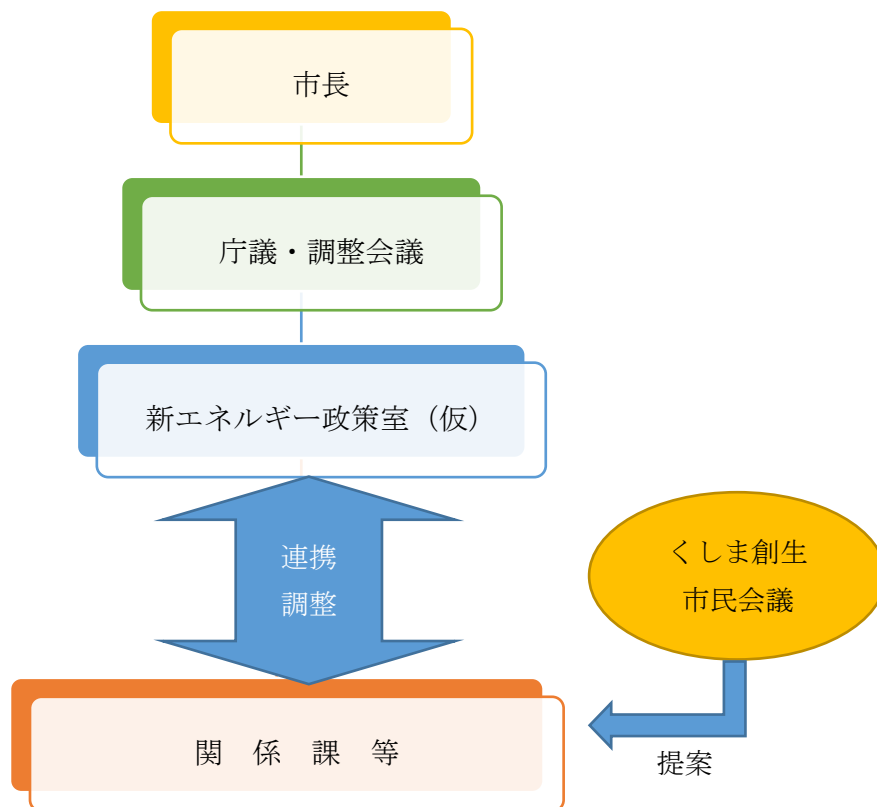
※改ページ

1.3 推進体制

(1)各種計画への反映
<p>1. 第6次串間市長期総合計画(2021~2030年度)</p> <p>本市では、2021年度に10年間の指針となる長期総合計画が第6次に移行することとなり、新たなフェーズによるまちづくりをすすめることとなる。</p> <p>改訂作業において、SDGsの記載は持続可能なまちづくりに有用かつ不可欠なものとして捉え、目標の達成に向けた取組の具体化と加速化を図るとともに、本提案に掲げた取組を反映することとする。</p>
<p>2. 串間市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>2015年度に、本市におけるまち・ひと・しごと創生の取組を推進するため、本市の人口の現状と将来の展望を示したうえで、今後5年間の目標や施策の基本的方向及び具体的な施策をまとめた「串間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「総合戦略」という。)を策定した。</p> <p>総合戦略では基本的な考え方として、①人口減少と地域経済縮小の克服、②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を柱として以下の4つの基本目標を設定し、その推進のための具体的な取組を整理している。</p> <ul style="list-style-type: none">①安定した雇用をつくる②子育て世代を支える③安心・安全な暮らしを守る④人を呼び込む <p>これらの基本目標は自治体 SDGs の取組に合致するものであり、設定されている数値目標(KPI)は本市における「持続可能な開発目標」といえる。したがって、SDGs 未来都市として施策を推進するにあたっての行動計画の骨格と位置づけ、第2期総合戦略については本提案に掲げた取組を反映させる。</p>

(2) 行政体内部の執行体制

【体制図】



本市の推進するSDGsの取組は、再エネを核としたものであり、新エネルギー政策室（仮）を2019年度から新設し、庁内において横断的な検討や議論を行い連携するものである。

また、市民からの意見をスムーズに行政内で反映できるよう「くしま創生会議」を設置しており、直接、市民が行政に提案等を行い事業化へ向けた検討を行っている。この事業を活用し、SDGsに対する意見も積極的に出してもらい、行政だけでなく市民が中心となって推進できる仕組みも構築する。

(3) ステークホルダーとの連携

1. 域内外の主体

① くしままちづくり協議会

平成25年に発足し、市民からの募金などにより、各種イベントを開催し市民主導の賑わいの創出が実施されている。ひいては、JR 串間駅近くに協議会が設置したレトロ路面電車は観光案内拠点となり、土日は協議会を中心に市民一丸となりボランティアスタッフとしておもてなしを行っており、「まちなかの道の駅」（仮称）と旧吉松家住宅周辺を繋ぐ賑わい創出の重要な役割を担う団体である。

②海山中

本市が整備を進めている「まちなかの道の駅」(仮称)の管理運営予定者であり、2021年の開業に向けて、道の駅の運営方法や必要な整備などを市と協議を重ねている。

海山中は本市の30、40代の3名で構成しており、持続可能なまちづくりのため、道の駅を核として串間を盛り上げていきたいと熱意のある団体である。

③一般社団法人串間青年会議所

串間青年会議所は積極的にSDGsの推進に取り組んでおり、市とタイアップした市民向けSDGs講演会の開催を計画している。

④有限会社スーパーほりぐち

本市発祥の小売店であり、地域に根ざした企業であることから、地産地消など地元生産者との連携による域内での持続可能な取組を行っている。ふるさと納税の商品受注も受けるなど、本市のリーダー的存在である。

⑤一般社団法人串間市観光物産協会

平成29年4月に本市の「観光協会」と「地場産業振興協議会」が一体化した、本市の観光と商工振興の柱となる民間組織である。「産業観光」の受付・案内業務など、市の「総合窓口」としての機能が期待されることから、更なる密な連携が必要となる。

⑥再生可能エネルギー関連事業者

ア 串間風力発電所(串間ウインドヒル株式会社)

イ 大生黒潮発電所(くしま木質バイオマス株式会社)

ウ 市ノ瀬小水力発電所(米良電機産業)

エ メガソーラー(市内6事業者)

SDGsモデル事業推進のために連携する企業である。

⑦宮崎県立福島高等学校

本市に唯一ある高等学校で、平成30年に創立95年を迎える歴史と伝統のある学校である。串間市立串間中学校とともに、県内初の連携型中高一貫教育校となり、1学年3クラスの小規模高校であるが、その強みを最大限に活かし、地域創生学において地域の課題をテーマに行政に対してプレゼンの実施や中高の乗り入れ授業をはじめとする、魅力あるカリキュラムを行っている。

⑧串間エコツーリズム推進協議会

「串間エコツーリズム推進全体構想」を推進するうえでの主たる協議会である。串間エコ

ツーリズム推進全体構想は国(環境省・農林水産省・国土交通省・文部科学省)の認定を受けていることもあり、他の自治体等からの注目度も高く、本市の新たな観光の重要な位置付けとなる組織である。

⑨日産自動車株式会社

EV等を通じて環境に配慮した持続可能な社会を形成するため、国内におけるEV販売台数1位である日産自動車株式会社と連携を行う。具体的な取組として「電気自動車を移動手段として活用」「充電インフラ整備のサポート」「電気自動車を【動く蓄電池】として活用」を予定しており、急速充電器設置に関するノウハウの提供やEVを用いたカーシェアリングの実証実験などを今後進めていく予定である。

⑩株式会社宮崎銀行

平成29年2月に本市経済の発展のため、包括的連携協定を結び、(1)地域資源を活用した魅力ある産業の育成と雇用の創出に関する事(2)子育て世代の支援体制構築に関する事(3)安全・安心な環境づくりとまちの活性化に関する事(4)交流人口の増加や移住等の促進に関する事(5)その他地域社会の活性化及び市民サービスの向上に資すること、の5つの項目において連携を深めることとし、現在海外戦略プロモーション事業を展開し、バンコク(タイ)にある伊勢丹のフードコートにおいて、本市の食材を使ったメニュー開発及び販売促進、食と旅を連動させたプロモーション活動を実施している。

⑪第一勧業信用組合(東京)

平成30年2月に包括的連携協定を結び、(1)人口減少と地域経済縮小の克服に関する事、(2)まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に関する事、(3)その他地域社会の活性化及び市民サービスの向上に資すること、の3つの項目において連携を深めることとしており、首都圏における農産物等のPRを中心に展開している。

⑫国立大学法人宮崎大学

本市と宮崎大学は、平成25年5月に包括的連携に関する協定を締結しており、それぞれの資源や機能等の活用を図りつつ、相互に協力し、地域の発展に寄与することを目的としている。また、「岬馬およびその繁殖地」での調査・研究は半世紀以上前から継続して取組まれており関わりは深い。

⑬宮崎産業経営大学 経営学部 出山研究室

福島高校の地域創生学の支援を平成29年度から継続して行っている。これまでには本市の特産品であるかんしょを活用した新スイーツの開発を行い、新しくしま人応援隊という民間団体が主催する移住体験ツアーで振る舞うなど、本市のPRに貢献した。平成30年度は

防災をテーマとした地域コミュニティの重要性など学生の立場に寄り添った教育支援を実施している。

2. 国内の自治体

①日南・串間広域市町村圏協議会（宮崎県日南市、串間市との連携）

宮崎県の県南部地域である日南市、串間市圏域の振興整備に資する施策を展開し、必要な調査研究を行っている。特に人口減少問題をはじめとする圏域を取り巻く環境の変化を踏まえ、単独では解決が難しい課題や広域による相乗効果が期待できる施策などについて連携した取組を進めている。

②南九州総合開発協議会

宮崎県都城市、日南市、小林市、串間市、三股町、高原町
鹿児島県曾於市、志布志市、大崎町

県を跨いだ南九州地域の総合開発及び自立的発展を図るため、関係市町が相互に連絡協調し、積極的に意見交換を行い、当該地域の産業、経済、文化の飛躍的向上に資することを目的としている。各市町のスキルアップのための研修等も行っており、平成31年1月16日には内閣府地方創生推進事務局の自治体 SDGs 講師派遣制度を活用し、SDGs に関して関係市町で理解を深めたところである。

③鹿児島県志布志市との連携

本市は宮崎県南部に位置し、鹿児島県志布志市と隣接している。生活圏・商業圏・観光圏が重なっており、各種取組を連携して行っている。また、志布志港にはフェリーさんふらわあが運航しており、志布志港～大阪南港を結び関西圏からの重要な航路となっている。

●これまでの主な取組

- ・フェリーさんふらわあ内での合同 PR
- ・合同観光キャラバン
- ・JR 日南線を利用したイベント「つながるマルシェ」の開催



（志布志市との観光合同キャラバン風景）

3. 海外の主体

①株式会社 epoc(エポック)との連携

本市は宮崎銀行との協働事業である「串間市海外戦略プロモーション事業」の一環としてタイの富裕層をターゲットにした「串間フェア」に取り組んでいる。株式会社 epoc が運営するバンコク伊勢丹のフードコートにおいて、本市の食材を使用したメニューを開発し、地場産品の販売促進や食や旅を連携したPR活動を行っており、地場産業社の販路拡大を支援している。



(串間タイフェア)

②国立大学法人宮崎大学留学生との連携

宮崎大学に在籍している留学生との連携により、本市のインバウンド事業の課題と対策を検討する予定であり、交流人口の増加に繋げていく。

③農業分野における外国人技能実習生の受入

本市は農業分野において外国人技能実習生を受け入れており、平成30年11月末時点でベトナムから10名、インドネシアから8名、フィリピンから7名の計25名が研修に来ており、今後も増加する傾向である。

※改ページ

2. 自治体SDGsモデル事業（特に注力する先導的取組）

2.1 自治体SDGsモデル事業での取組提案

(1) 課題・目標設定と取組の概要

(自治体SDGsモデル事業名)

SIT(Sustainable Industry Tourism)プロジェクト

(課題・目標設定)

ゴール4 ターゲット4. 4

ゴール7、ターゲット7. A

ゴール8、ターゲット8. 9

ゴール11、ターゲット11. 4

ゴール12、ターゲット12. 8

ゴール15、ターゲット15. 2

ゴール17、ターゲット17. 17



本市は都井岬や幸島、本城干潟をはじめとする自然豊かで、第一次産業が主となる田園都市である。しかし、平成4年に九州電力から原子力発電所建設が打診されてからは、市を二分する賛否の対立構造が長く続くこととなる。そのような中で平成23年4月に住民投票により、原子力発電所建設の是非を問おうとした矢先、同年3月11日に発生した東日本大震災により、住民投票自体を中止とし原子力発電所の立地は完全になくなった。

その間も本市は自然との共存を選び、都井岬をはじめとする天然記念物でのガイド養成事業や第一次産業の発展を本格的に取組んできた。その結果、九州で初となる「串間エコツーリズム推進全体構想」の国(環境省・農林水産省・国土交通省・文部科学省)の認定を受けた。

また、第一次産業においては、GI認証を受けたさつまいもブランド「ヤマダイかんしょ」や本市発祥であるみやざきブランドの「きんかんだまたま」は本年から栄養機能性食品として健康に着目され、本市の代表的な農産品として出荷されている。



本市発祥のきんかん「たまたま」

串間ご当地グルメ「串間活メぶりぶり丼ぶり」

これらの農産物をふんだんに使用した「串パフェ」は県内26市町村の料理のトップを決める「平成26年ご当地グルメコンテスト」に優勝し、本市の農産品のポテンシャルの高さをPRした。

水産資源においては東京など都心部にも出荷されている「養殖ぶり」を使用した串間ご当地グルメ「串間活メぶりぶり丼ぶり」が平成28年に宮崎県が主催した県民の選ぶグルメコンテスト「宮崎オススメし」において南那珂地区1位を受賞するなど認知度が高まっている。これらの取組を経てエコツーリズムを主体とし、豊かな食を複合的に併せた本市の新たな可能性の一步を踏み出したところである。

さらに、平成30年5月に域内の未利用材を活用した木質バイオマス発電所の稼働、同年9月に農業用水路を活用した小水力発電所が稼働した。今後、九州最大規模の風力発電所が稼働するなど、自然を活かした産業が生まれている。

今後、全国の多くの自治体が直面する、人口減少や高齢化対策は本市の喫緊の課題であり、国立社会保障・人口問題研究所の発表によると2015年18,779人いた人口が、2045年には9,229人に減少し、49.1%と高い人口減少率となっている。このため、エコツーリズムや再エネ施設を繋げた新しい交流人口増加対策を打ち出し、持続可能な産業振興と活気あふれるまちづくりを展開する必要がある。

(取組の概要)



本事業は「エコツーリズム」「再エネ施設」「食」「お土産」「宿泊」をトータルコーディネートするために必要である「旅行者」の創設を目指す事業である。これまで、各観光地やエコツーリズムは、それぞれ点と点であり、繋げて面とする取組ができていなかった。

本市のように小さな自治体の観光素材では大手旅行業者が旅行メニューを作ることはほとんど無い。しかしながら、前述のとおり魅力のある食材やエコツーリズム、社会学習の場としての再エネ施設見学など豊かな自然と資源が多数存在しており、本市独自の着地型旅行メニューの開発を行うことが、持続可能な地域づくりに繋がるものだと確信している。

当然メニュー開発に当たっては宮崎大学をはじめとする多様なステークホルダーとのパートナーシップにより、自立的、かつ、持続可能な経済活動が行えるような仕組作りを構築する。

(2) 三側面の取組

① 経済面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 8, 9	指標: 都井岬入込客数	
	現在(2017年): 95,989人	2021年: 150,000人
	指標: まちなかの道の駅(仮称)来訪者数	
	現在(2019年): 0人	2021年: 340,000人
 11, 4	指標: エコツーリズム参加者数	
	現在(2019年1月): 2,152人	2021年: 2,500人

①—1. 都井岬再開発

【取組概要】

本市の地方創生の核と位置付ける「都井岬」に「エコツーリズム活動拠点施設」を整備する。施設には、エコツーリズムの新たな魅力発信と総合案内・受付機能及び風力・小水力・バイオマスなどの「再生可能エネルギー」の市内での取組等を紹介するとともに、エコツアーの紹介・仮想体験を行う。

また、都井岬を訪れた観光客が、食事や物産品の購入ができるブースを設け、軽食は地元産食材の使用に配慮した特別メニューを、物販においても地元事業者と連携した地域ゆかりのオリジナル商品を提供する。(地方創生活拠点整備交付金申請中)

(事業費)

3年間(2019～2021年)総額: 354,289千円

①—2. まちなかの道の駅(仮称)

【取組概要】

道の駅建設予定地周辺は、市役所等の公共施設、JR 串間駅、商業施設等が集中する、いわゆる本市の中心地であり、かつ国道220号及び国道448号の結節点である。しかしながら人口減少等により、集客力の低下や空き店舗が目立ち中心市街地としての機能低下が顕著である。

この状況を打破すべく、当該エリアに道の駅を設置し「しごと創り」「ひと創り」「まちの創生」へと繋がる重要な役割を担う拠点施設とするものとし、串間版地方創生の起爆剤とす

る。具体的な機能として地場産品提供や飲食物提供の機能はもちろん、情報発信機能、市民活動交流機能、防災機能(帰宅困難者受入、被災者情報収集、炊き出し、ボランティア受入等の機能)を併せ持つものである。また、本市の推進する再エネの活用やCO2削減等の環境に配慮した施設を目指し、地中熱源ヒートポンプによる空調設備を導入予定である。

(事業費)

3年間(2019~2021年)総額:1,184,000千円

①-3. 串間エコツーリズム推進事業

【取組概要】

「串間エコツーリズム推進全体構想」は、平成29年2月に九州では初となる国の認定を受け、また平成30年2月には、「エコツーリズム大賞」(環境省主催)にて特別賞を受賞した。しかし、認知度や基幹産業(農林漁業や商工業)との連携が弱く、経済的な2次・3次効果が未だ低い等の課題がある。

事業効果を地域産業(特に食と宿泊)に強く結びつけるため、地域貢献に資する新たなエコツアーや認定宿の開発、利用者助成をすることで、登録メニュー数と利用者数の増加、エコツアー関連での宿泊者数の増加を目指す。将来の東九州自動車道整備や都井岬の再開発、道の駅、旧吉松家住宅周辺整備と平行して、これらが整備された際に、本市へ訪れる「理由・目的・必然性」となるソフトメニューとして、串間の具体的な楽しみ方を提案する商品「串間エコツアー」を提供できる体制を作るものである。



(事業費)

3年間(2019~2021年)総額:24,000千円



(2019年1月19日 宮崎日日新聞 記事)

② 社会面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 4, 4	指標: 海外戦略プロモーション事業に伴う参加事業者数	
	現在(2019年1月): 9事業者	2021年: 15事業者
 4, 1	指標: 福島高校生海外研修実施回数	
	現在(2019年3月): 0回/年	2021年: 1回/年

②—1. 海外戦略プロモーション事業

【取組概要】

平成28年度宮崎銀行との関係強化を図るため、包括連携協定を締結し、具体的な取組として(株)epocによるバンコク(タイ)市内の伊勢丹内にあるフードコートにおいて、串間市単独のフェアを実施している。

単発のいわゆる「イベント」では認知度の向上は見込めないので、継続した事業展開をする必要がある。そこで、日本食のニーズが高いことは昨年度行ったフェア等を通じて感じていることから、新たな販路拡大の可能性があると考える。

(事業費)

3年間(2019～2021年)総額:8,550千円

②—2. きらり! 福高ロード アドバンスプロジェクト事業

【取組概要】



本市唯一の福島高校へ進学する者は年々減少傾向にあり、これまで入学支援金や給付型奨学金等を支援してきたが、今後、人財育成について支援を充実させる必要がある。そこで、福島高校を「就職・進学に強い魅力あふれる学校」とするため、課題解決能力、現実社会対応能力の育成に力を入れ、学びの環境の充実を図る。

学びの課程では、課題解決型シュミレーションプログラムの導入、海外研修、実践報告会の実施を行い、産官学連携のもとに「就職・進学に強い魅力あふれる学校」を目指す。

(事業費)

3年間(2019～2021年)総額:9,000千円

③ 環境面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 7, a	指標: 串間温泉いこいの里におけるバイオマス導入によるCO2排出量	
	現在(2018年): 551t-CO2/年	2021年: 100t-CO2/年
 12, 8	指標: 蓄電池導入補助数	
	現在(2019年3月): 0件	2021年: 15件

③—1. 串間温泉いこいの里再エネ導入事業(再エネで再生! 複合型コミュニティ施設)

【取組概要】

本市唯一の温泉施設である「串間温泉いこいの里」は、最重要観光地である都井岬とJR串間駅・市役所・建設予定の「まちなかの道の駅」(仮称)等がある中心市街地との中間に位置しており、本市観光のキーポイントとなる施設である。

しかし、上記のように重要な施設であるにもかかわらず、人口減少による客数の減少、燃料代高騰による維持費の増大等により、指定管理者が赤字経営などで撤退し、その都度対策(入湯税の減免、電灯のLED化等)を行ったが抜本的な解決には繋がっていない。

そこで、市役所支所、公民館、福祉施設(ふれあいセンター)の機能を集約し、「いこいの里」を中心とした施設利用促進・地域活性化を推進、かつ、施設管理の効率化を図るとともに、木質バイオマスボイラー(熱源利用)や太陽光発電(自家消費)などの再エネを導入することにより、経営の安定化、光熱費やCO2の削減を図る。

(事業費)

3年間(2019~2021年)総額: 92,222千円

③—2. 自家消費型新エネルギー導入促進事業

【取組概要】

本市はこれまで、家庭用太陽光発電の普及を図るため、自家消費・売電問わず発電規模に応じて補助金を交付してきた。今後については、家庭におけるゼロエネルギー化を勧めるとともに、災害時における自家発電施設の確保等の観点から、自家消費に特化し、蓄電池と太陽光発電を同時に導入した場合に補助金を交付するものとし、再エネ(太陽光発電)の普及を図るとともに蓄電池導入による災害に強いまちの推進を図るものである。

(事業費)

3年間(2019~2021年)総額: 3,000千円

(3)三側面をつなぐ統合的取組

(3-1)統合的取組の事業名(自治体SDGs補助金対象事業)

(統合的取組の事業名)

新モビリティ&シームレスサービス実証事業

(取組概要)

本市の地域公共交通の現状については、高齢者の交通手段の確保、主要観光地への交通ネットワークの不足、公共交通間のアクセスの悪さ、交通不便地域の様々な課題がある。

加えて、中心市街地の大規模開発が予定されており、将来を見据え、地域全体を見渡した面的ネットワークを構築する必要があるため、2019年度に「公共交通網形成計画」の策定を予定している。

同計画の策定にあたっては、まちづくり・観光振興等の地域戦略との一体性の確保が求められるため、本市が重点的に進めている各種エネルギー施策や「まちなか道の駅」(仮称)の整備、都井岬再開発との連動性を持った持続可能な地域公共交通の再編を行うことで、公共交通の活性化を図るとともに、経済・社会・環境の三側面をつなぐ重要なツールとなるものである。

(事業費)

3年間(2019~2021年)総額:30,870千円

(統合的取組による全体最適化の概要及びその過程における工夫)

2019年度に「地域公共交通網形成計画」の策定にあたり、低炭素型社会の実現と地域が抱える様々な課題を平行し解決するため、グリーンスローモビリティの導入や自動車CASEの活用、観光振興と公共交通機関の利用環境を刷新する多言語対応やキャッシュレス決済対応、シームレスで一貫した交通サービス「MaaS」等の実証実験を行い、地域公共交通の充実により持続可能な社会実現に向けた検討を行う。

まずは、コミュニティバスのオープンデータを活用したバスロケーションシステム及びデジタルサイネージを導入し利用者に対してバスの運行状況の見える化を行い、県内初となるグリーンスローモビリティの実証実験を行い、段階的に電気自動車のカーシェアを進め、地域住民と観光客の利便性の向上を図り、三側面の統合的取組の最適化を行う。



(実証実験を検討しているグリーンスローモビリティ)

(3-2) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果等(新たに創出される価値)

(3-2-1) 経済⇄環境

(経済→環境)

KPI (環境面における相乗効果等)	
指標: 市民アンケートに伴う環境に配慮した生活をしている割合	
現在(2018年8月): 70.7%	2021年: 80%

経済面のエコツーリズム及びSITプロジェクトに伴う低炭素(CO2削減)を意識した交通網が整備されることとなり、多くの人が目にする機会が増え、環境の保全や整備に対する意識向上へと繋がる。

(環境→経済)

KPI (経済面における相乗効果等)	
指標: 発電所視察者数	
現在(2019年1月現在): 471人/年	2021年: 1,200人/年

バラエティに富んだ再エネ施設が本市で多く稼働することにより、その施設の視察者が増加するものと予想される。本市を訪れる視察者が増えることで、「食」や「お土産」といった経済効果の上昇が相乗効果として期待できる。

(3-2-2) 経済⇄社会

(経済→社会)

KPI (社会面における相乗効果等)	
指標: エコツーリズム認定数	
現在(2019年3月): 12件	2021年: 20件

SDGsモデル事業の推進により、交流人口の増加を促進し、エコツーリズムの参加者数を増加させる。それに伴い、エコツーリズム事業者の新規参入を促すことにつながり、メニューの認定数増加が見込める。



(くしまエコツーリズムに認定されている野生馬ガイド)

(社会→経済)

KPI (経済面における相乗効果等)

指標: 本モデル事業の相乗効果により創出される雇用数

現在(2018年度): 0人	2021年: 10人
-------------------	---------------

事業の展開により本市の社会面の課題である人財育成の強化が図られ、多様な人材の雇用確保などの相乗効果が期待される。

(3-2-3) 社会⇄環境

(社会→環境)

KPI (環境面における相乗効果等)

指標: 小中学生を対象とした、市内再エネ施設の工場見学数

現在(2019年3月): 1回	2021年: 11回
--------------------	---------------

SDGsモデル事業の取組により、エコツーリズム事業者や地場産業者の育成が促されることで、活気あふれるまちへと繋がっていく。そのことにより、その社会を作り上げた自然への理解を深まり、再エネ施設等への関心が深まっていき、環境教育の好循環へと繋がる。



(再エネ施設の見学風景)

(環境→社会)

KPI (社会面における相乗効果等)

指標: コミュニティバス利用者数

現在(2018年度): 25,976人	2021年: 30,000人
------------------------	-------------------

環境に配慮した社会が実現することで、市民全体の意識の向上へと繋がり、公共交通分野におけるグリーンスローモビリティ等の低炭素車両導入実験に向けた理解が深まっていき、公共交通の利用促進へ繋がる。

(4) 多様なステークホルダーとの連携

団体・組織名等	モデル事業における位置付け・役割
国立大学法人宮崎大学	<p>本市モデル事業の核として、エコツーリズムと再エネ施設等を繋ぐ取組が必要となってくるが、それらを持続可能な取組へと昇華させるためにも、客観的、かつ、論理的に分析することが必要となる。そのため、宮崎大学とは2018年度より旅行商品造成に向けた協議を進めている。さらに、同大学の産学・地域連携センターとも連携し、持続可能なまちづくりにむけて、産官学での取組を進めている。</p>
日産自動車株式会社	<p>三側面の取組において交通網の充実は必要不可欠である。既存の車両導入を進めるのではなく、交通手段における低炭素化を推進するため、公用車(EV)のカーシェアリングをはじめ、充電インフラの整備のサポートを連携して実施していく。</p> <p>また、交通分野における連携だけでなく、レジリエンスな都市実現のため、電気自動車を「動く蓄電池」として活用することの実証実験などを計画している。</p>
株式会社宮崎銀行	<p>本県における第一地銀である宮崎銀行とは、海外戦略プロモーション事業においてタイアップを行っており、事業者の育成とともに、強い経済を実現させる重要なステークホルダーである。</p> <p>また、タイとの繋がりは上記に述べる以外にも、国際化を目指していく上で重要なチャンネルとなっており、本市のSDGsの取組を発信できる重要な役割を担っている。</p> <p>今後においては、地場産品の海外輸出だけでなく、インバウンドを取り込んだ連携が期待できる。</p>
一般社団法人串間市観光物産協会	<p>同協会は観光分野と物産分野の両側面を持つ、本市の観光と商工業の発展のため重要な組織である。本市モデル事業においては、再エネを核とする交流人口促進事業を展開することとしており、観光においてキーセンテンスである「食」や「お土産」分野における重要なステークホルダーである。</p>

(自治体SDGsモデル事業のための)コンソーシアム

庁内を横断的に取りまとめる SDGs プロジェクトチームを立ち上げ、これまでの本市における取組に関与してきたステークホルダーを加えたコンソーシアムを形成し、客観的な進捗管理を行う予定である。

(5) 自律的好循環

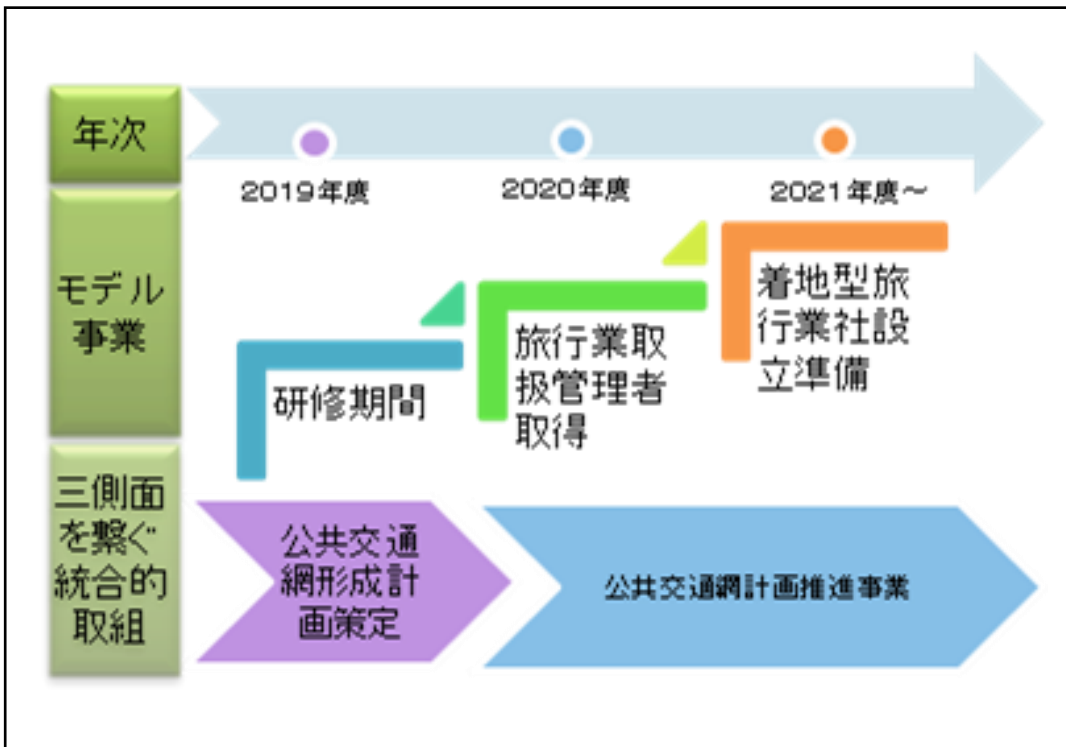
(事業スキーム)

人口減少により「消滅可能性都市」として存続が危ぶまれている本市であるが、本事業を推進することで、「経済」「社会」「環境」の3側面への課題を解決するだけでなく、活力ある持続可能な都市へ転換し、全国に先駆けた自然とエネルギーが共存するモデル地区になると考えている。

具体的には

- ①エコツーリズムと再エネ施設見学への参加者増によるビジネスチャンスの拡大
- ②ビジネスチャンスの拡大により、市内事業者のスキルアップや商品開発に繋がる。
- ③自然とともに共存するため官民一丸となった再エネの普及と理解の醸成

が、生まれ自然と再エネ施設が中心となった自律的好循環と繋がり、SDGs の達成に大きく寄与できる。



(将来的な自走に向けた取組)

本市の SDGs モデル事業である SIT プロジェクトは総務省「地域おこし協力隊」制度を活用し、意欲ある移住者とともに作り上げることとしている。在任期間は制度の特別交付税を活用し、有利な財源を措置するとともに、旅行業に関する研修を地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームや宮崎大学産学・地域連携センターとのマッチングにより、実践的なものとなるよう計画している。その研修等に係る費用を宮崎県の補助である「持続可能な地域づくり応援事業」の活用を予定し、これらの計画を的確に実施していくことで、自走できる取組にする。

(6) 資金スキーム**(総事業費)**

3年間(2019～2021年)総額:1,393,061千円

(千円)

	経済面の取組	社会面の取組	環境面の取組	三側面をつなぐ統合的取組	計
2019年度	862,289	5,850	93,222	18,685	980,046
2020年度	692,000	5,850	1,000	18,000	716,850
2021年度	8,000	5,850	1,000	18,000	32,850
計	1,562,289	17,550	95,222	54,685	1,729,746

(活用予定の支援施策)

支援施策の名称	活用予定年度	活用予定額(千円)	活用予定の取組の概要
地方創生拠点整備交付金	2019	136,329	経済面の都井岬再開発計画に活用予定
再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業	2019	45,701	環境面の串間温泉いこいの里再エネ導入事業に活用予定
都市再生整備計画事業	2019～2020	400,000	経済面のまちなかの道の駅計画に活用予定

(民間投資等)

カーシェアリングやグリーンスローモビリティ等の実証実験として、前述しているステークホルダーと積極的に連携していき、ビジネスモデルの検証を行い、企業の参入を促していく。

(7)スケジュール

	取組名	2019 年度	2020 年度	2021 年度
統合	SIT プロジェクト	地域おこし協力隊募集 (~9月)	旅行業に伴う研修等 (~3月)	宮崎大学等と連携した取組推進
	新モビリティ&シームレスサービス実証事業	計画に伴う業務委託準備 (~8月)	計画策定に伴う調査等 (~2月) 計画策定 (~3月)	公共交通網計画推進事業 (~3月) 公共交通網計画推進事業 (~3月)
経済	①-1 都井岬再開発事業	設備整備に関する入札等 (~8月)	エコツーリズム拠点の整備 (~3月) エコツーリズム拠点の工事 (6月~3月)	2020年4月にオープン 定期的なイベントの開催
	①-2 まちなかの道の駅	出店に伴う規定等策定 (~9月)	出店者募集及び決定 (~2月)	開店準備 (~2月) 開店 (~3月)
	①-3 串間エコツーリズム推進事業		オリジナル商品開発等・収益力向上効果的な発信方法戦略等	営業開始
		都井岬再開発事業、SIT プロジェクトとの取組推進		

社会	②-1 海外プロモーション事業	<p>イベントの企画・準備 (~12月)</p> <p>イベントの実施 (~1月)</p>	<p>イベントの企画及び実施</p>
	②-2 きらり！福高ロード アドバンスプロジェクト事業	<p>定期的な課題解決学習及び海外研修の実施</p> <p>海外研修期間 (9月~10月)</p>	<p>定期的な課題解決学習及び海外研修の実施</p>
環境	③-1 いこいの里再エネ導入 事業	<p>設計 (~6月)</p> <p>工事期間 (~2月)</p> <p>完成 (~3月)</p>	<p>定期的なイベントとSITプロジェクト との取組推進</p>
	③-2 自家消費型新エネルギー 導入促進事業	<p>通年で補助の申請受付及び交付</p>	<p>通年で補助の申請受付及び交付</p>

事業名:SIT(Sustainable Industry Tourism)プロジェクト

提案者名:宮崎県串間市長 島田俊光

取組内容の概要

・再生可能エネルギー施設を核とした産業観光を展開し、交流人口の増加に寄与し地域内の経済の循環を促す。同時に、環境省による「自然環境保護と観光振興の両立を目指すエコツーリズム推進地域」に指定されていることから、再生可能エネルギー施設とエコツーリズムを融合させた新しい旅行商品の造成を行うことで、本市独自の取り組みを行う。



2019 年度 SDGs 未来都市等提案書 参考資料一覧

提案者：宮崎県串間市

参考資料 1	くしまエコツーリズム認定メニュー
参考資料 2	「まちなかの道の駅」(仮称) 概要

参考資料 1

都井岬馬追いの歴史に立ち会う！ 伝統の「馬守人」体験

江戸時代、高鍋藩の秋月家が牧場を開き、都井岬で行われていた軍馬の生産。馬追いは当初、生まれた若駒を捕獲搬出するために始まった伝統作業でした。

現在では文化財の岬馬を守る保護活動として実施されています。野生馬の雄大さを間近に感じられるのは串間の馬追いならではの！あなたも馬追いの歴史に立ち会ってみませんか？



都井御崎牧組合
☎0987-76-1244

- 実施時期 / 毎年1回、秋(9月下旬頃)
- 所要時間 / 7.5時間(朝8:30集合)
- 集合場所 / 都井岬「夕が見える小松ヶ丘広場」
- 料金 / 初回1,500円※2回目~1,000円
(弁当・お茶・保険・記念帽子代として)
- 定員 / 1~20名(高校生以上で足腰の健康な方)
- 準備物 / 帽子、タオル、長袖・長ズボン、野外活動ができる服装



新たな「馬守人」を
お待ちしております！

都井御崎牧組合 馬守人
諏訪 英顕さん

地元の方の方言は半分が外国語!?
でも、実はそれも楽しみのうちのひとつ。
ここにしかないまさに「串間の馬追い」の
雰囲気存分に味わえます。
そして、馬追いの醍醐味は何と言っても
協力して馬が帰った時の達成感!



感動SUP体験！ 串間の海で癒しの「海散歩」



恋ヶ浦自然学校
☎090-5741-7926
E-maijiro_m0705@yahoo.co.jp

- 実施時期 / 5月~10月
- 所要時間 / 2時間
- 料金 / 1人5,000円
(2名以上は割引券、ウェアのレンタル料別)
- 定員 / 1~5名
- 準備物 / 水着、タオル、帽子、かかとのホールドできる履物、日焼け対策用具

穏やかな波に揺られ、ゆったりと流れる時間。いつもとは一味違った、海の上から見る景色。足元を覗くと透き通る串間の海は県内でも有数の透明度を誇ります。まるで海を散歩するようにSUP(スタンドアップパドルボード)に乗り、その全てを感じる。楽しみ方はあなた次第。皆さんの希望を丁寧に聞きながら、個別に目標を設定をしています。ゆったり串間の海を散歩しに来てみませんか？



SUPは
「感じる事が大切！」

恋ヶ浦自然学校 SUPインストラクター
前田 治郎さん

立つことが全てではありません。SUPの上で見る景色や透明な海、肌で感じる優しい風、その全てを楽しむことが一番のコツ！僕と一緒に楽しくお話ししながら、串間の海を散歩しましょう！

プログラムの流れ

Program

8:30



馬追い帽子GET!
オレンジ色が馬守人の証。説明をよく聞いて、準備万端!

9:20



いざ、馬追い開始!
ドキドキ…うまくできるかな。なるほど! そうすればいいのか!

12:00



みんな一緒にランチ
みんなで食べると美味しいな。色んな人と交流出来て楽しい!

16:00



あなたも立派な馬守人
みんなで協力して馬が入った時の達成感は格別! お疲れ様でした!

プログラムの流れ

(※時間はお客様のご要望に応じられます)

Program

9:00



SUPってそうなんだ
SUPについてや乗り方を聞いてふむふむ。ワクワクがUP!

9:40



感じる事が大切
立てなくてもいいんだ! サポートしてもらえらるから安心。

10:20




一緒に癒しの海散歩
海から見る景色はとってもキレイ! ゆったり過ぎる時間にほっこり。

11:00



陸に戻って
気持ちよかったなー。余韻に浸って幸せな気持ち。

ホンモノ!! 定置網体験 

串間の海と綱引きだ!



(有)海心
☎0987-76-1093
E-mail:kaishin@tulip.ocn.ne.jp

船の先のように尖った形をした都井岬。そこに向かって黒潮は多くの魚を運んでくれます。漁をする都井沖は様々な魚が獲れる魚の宝庫。色々な魚と出逢えること間違いなし!
魚の習性を利用した効率的で環境に配慮した漁と言われている定置網漁。初めての人も手軽にできて、本物の漁師の気分が味わえます。
海心丸に乗って、一緒に海に出てみませんか?


- 実施時期/通年
- 所要時間/2時間
- 料 金/3,000円(+2,000円でBBQ付または釣り船3時間付のプランもあります)
- 定 員/5~12名(12名以上の場合、見学のみ50名まで対応可・要問合せ)
- 準備物/動きやすい・汚れ・濡れてもいい服装、軍手、水筒、クーラーボックス



海鮮BBQもできます!

自分で魚を捕った時の感動は忘れられません!

海心 船長
川崎 義成さん
生きた魚に触れたことはありますか?お店に行けば、すぐに手に入る魚。体験では「あなたの手」で生きた魚を獲ってもらいます。「魚好きを増やしたい!」がモットー。あなたの乗船お待ちしております!

とびっきりの都井岬の魅力をガイド 

御崎馬とあなたとの感動的出逢いを



都井岬ビジターセンター
☎0987-76-1546
月曜日休

純粋な日本在来馬として1953年、国の天然記念物に指定された御崎馬。彼らは一夫多妻のハーレム群を形成し、季節ごとにえさを求め移動しながら暮らしています。特に4,5月は春駒と呼ばれる子馬の出産が盛んな季節。ただ見るだけでなく、ガイドを聞くことにより一層増す面白さ。目からうろこが止まりません!感動的な御崎馬との出逢いをしてみませんか?

- 実施時期/通年(4月~10月がおススメ)
 - 所要時間/1.5時間
 - 料 金/大人310円 小・中学生200円(団体割引・減免有)
 - 定 員/1~20名
 - 準備物/動きやすい服装、靴
- *ガイドは、予約優先となっております。事前予約をお願い致します。



都井岬は「貴重なものだらけ!」

都井岬ビジターセンター ガイド
世良田 明呼さん
たくましく生きる野生の御崎馬。眼下に絶景を望む高山からの景色。四季折々の表情を見せる希少植物。「景色と動物がマッチしたこの空間」にあなたは目を奪われるはず。都井岬の魅力。余すことなく届けます!



御崎馬と大自然満喫ウォーキング
都井岬の魅力を「歩いて」感じたい方はこちら!
■所要時間/5時間
■料 金/高校生以上1500円~ 小・中学生 1000円~

プログラムの流れ (※時間はお客様のご要望に応じられます)



Program

<p>9:00</p>  <p>ライフジャケット着用 説明を聞いて、いざ出発! 陸に向かって、いってきますー!</p>	<p>9:30</p>  <p>海は広いな、大きいな 海から眺める景色を堪能。まだ見ぬ串間の魚に胸がどきどき。</p>	<p>9:50</p>  <p>海と綱引きスタート 魚が見えたー! 綱を手練り寄せ、やった! 獲ったぞおー!</p>	<p>11:00</p>  <p>獲れた魚を山分け 自分が獲った魚だ! これが好き! じゃんけんポン!</p>
--	---	--	--

プログラムの流れ

Program

<p>9:30</p>  <p>見たいところは? 希望を聞いてもらい、コース決定! さあ、出発!</p>	<p>10:00</p>  <p>わあ! 馬みつけた こんな近くで見られるの? かわいい顔にほっこり</p>	<p>10:30</p>  <p>絶景も見どころ 丘の上からながめる景色は最高!!</p>
--	--	---

野外ガイド 時刻表

9:30~
11:00~
14:00~
16:00~(土、日、祝日のみ)

※事前予約が必要でず
※団体は相談可



生命の源、森へ!!



森でどっぷり自然体験



Camp権代

☎0987-72-3211

090-1199-5496(河野幸子)

E-mail:kawanosachiko1122@gmail.com

URL:kannokai.com/

本城地区を奥に進むと現れるCamp権代。そのフィールド全てに自然の営みがあります。季節ごとに味わえる柚子や梅、ブルーベリー。動植物がその時々風景を見せてくれます。体験の中では森の恵みに感謝しながら、環境に配慮して行うエコ活動。食器は持参し、ゴミを出さない。活動を通して、自然を大切に思う気持ちが育まれます。森で私たちと一緒に癒しの時間を過ごしませんか?

- 実施時期 / 11月~5月(有害虫がいらない季節)
- 所要時間 / 4時間
- 料金 / 大人3,000円~、子ども2,000円~
- 定員 / 10~30名程度
- 準備物 / 軍手、水筒、動きやすい服装(長袖・長ズボン等)



自然の中で過ごすのは人間本来の姿

Camp権代 ガイド
河野 良人さん
河野 幸子さん

森は私たちに癒しを与えてくれます。そして、便利な世の中だからこそ、木を切り、火を起し、釜でお米を炊くなどの体験が付きをくれます。自然から学ぶ貴重な機会。一緒に森の恵みを実感しましょう!



プログラムの流れ (※時間はお客様のご要望に応じられます)

Program

10:00



はじめまして

まずはみんなで顔合わせ。話を聞いたら、いざ森へ!

10:30



木こりになって

枝打ち、植樹、森づくり。体を動かし、気分爽快!

12:00



森で癒しの昼食を

地鶏の炭火焼はまさに絶品! 森で食べる昼食は幸せそのもの。

14:00



森の恵みでつくる

完成!世界にひとつだけのオリジナルクラフト作品!



くしまの海と岬の自然を体感!!



「かめんこ号」探検隊



遊覧船 かめんこ号

☎0987-76-1093

090-3012-8043(川崎弘貴)

2012年3月、都井沖で発見された九州最大級のテーブルサンゴ。海底には隙間なく埋め尽くされたサンゴが広がり、壮大な海の物語を私たちに伝えてくれます。皆さんを都井沖に運んでくれるかめんこ号は海中を覗くことのできるグラスボート。そのテーブルサンゴや、串間の魅力を、もっとたくさんの人に知ってもらいたくて遊覧体験を始めました。かめんこ号に乗って、串間の海と一緒に探検してみませんか?

- 実施時期 / 通年(不定期でイベントの開催をしています)
- 所要時間 / 1時間
- 料金 / 遊覧:高校生以上1,700円(小中学生900円(割引有)(+500円で釣りもできます))
- 定員 / 3~50名まで



普段見られない「海上からの景色」が最大の魅力!

遊覧船かめんこ号 船長
川崎 弘貴さん

船上から望む都井岬や灯台は一味違った姿を見せてくれます。漁師だからこそ伝えられる海の魅力。遊覧船かめんこ号であなたを串間の海にいざないます!



プログラムの流れ (※時間はお客様のご要望に応じられます)

Program

9:00



準備はOK?

トイレ、体調は?確認よし! まもなくの出航にワクワク!

9:20



海から望む都井岬

陸とは違った絶景がここに。思わず景色にくぎづけ。

9:40



九州最大級!?

船の下を覗くと、一面に広がるテーブルサンゴに感動!

10:00



波に揺られて

ゆるやかな時間を楽しみながら港へ。「ただいま」

ふるたけフットパス



ようこそ！ ニッポン昔話の世界へ！



くしまん自然学校
☎090-2268-8196(谷口恵子)

「すぐそばにある田舎。」古竹地区は市街地から車で15分ほどでいける場所にあります。まるでニッポン昔話にできそうなその風景は、私たちをどこか懐かしい気持ちにしてくれます。歩けばすぐに感じられる自然、動物、地域の人、田舎の風景。その全てが古竹の魅力。目に入ってくる景色ひとつひとつが私たちに色んな気づきや発見をくれます。ニッポン昔話の世界へ足を踏み入れてみませんか？

- 実施時期 / 春・秋
※イベント開催についてはお問合せください。
- 所要時間 / 3.5時間
- 料 金 / 高校生以上1,000円～
小・中学生500円～
- 定 員 / 10～20名
- 準備物 / 動きやすい服装、長靴、帽子、タオル、
水筒、虫よけ



中世の「Minato」歴史散歩



光の道に誘われて



本城歴史発見塾
☎0987-72-3211
090-1199-5496(河野幸子)

「中世の時代、串間は外国との玄関口だった？」本土の一番下に位置する串間は外国から一番近い場所とされ、多くの外国船が寄港しました。中世の世界地図をもとに、古井戸や海軍遺構を訪ね、歴史ロマンに思いを馳せます。最後は県内で唯一、本城干潟でしか見られない海に沈む夕日を望みます。一緒に「光の道」が出来るその時に立ち会いませんか？

- 実施時期 / 通年
(12月～2月が夕日の一番綺麗に見える季節です)
- 所要時間 / 4.5時間
- 料 金 / 大人1,500円 中学生以下500円
・休憩時軽食でおもてなし有り。
※移動は発見塾の車に同乗可。
- 定 員 / 10～20名
- 準備物 / 動きやすい服装



くしまん自然学校
KUSHIMAN NATURE SCHOOL

- バードウォッチング(夏・冬島の観察会)
- ネイチャークラフト(夏:貝殻フォトフレーム
(冬:クリスマスツリー)
- 都井岬野馬の観察会(春期、ナイトウォーク)

他にも地域の自然・文化・歴史に親しむ様々な体験イベント企画、リクエストに応じた体験もっております。お気軽にお問い合わせください。

ようこそ！
ニッポン昔話の世界へ！

古竹地区 自治会長
濱崎 達己さん

「体験の記憶が成果物」普段そこにあるのに見ていないものの美しさ、面白さを感じられるように心がけています。古竹を訪れたことで皆さんに少しでもわくわくをお届けしたいと思います。

くしまん自然学校では他にも色んな自然体験ができます！



一緒に串間の歴史に
触れてみませんか？

串間史談会認定 ガイド
河野 幸子さん

「自分の目に見えるところに歴史がある」私が実際に串間で受けた歴史ガイドで面白いと感じたこととして、歴史を紐解くことで知ることの出来る様々な史実、串間にもこんなにも面白い歴史がたくさんあることを皆さんにも感じてもらいたいです。

南蛮人に
会えるかも！？

プログラムの流れ

Program

9:30



おはようございます

一緒に歩く皆さんと顔合わせ。よろしくお願いします！

10:00



ニッポン昔話!?

まるでタイムスリップしたかのよう。目の前には日本の原風景が！

12:00



旬のものを味わう

四季折々の郷土料理に舌鼓。心も体も満たされます。

13:00



また会いましょう

どこか懐かしい古竹とのお別れ。ありがとうございました！

プログラムの流れ

(※時間はお客様のご要望に応じられます)

Program

13:30



お願いします

これから歴史散歩の皆さんとご対面。「はじめまして！」

15:00



中世の世界地図で

古井戸を見ながら湊地区の歴史ロマンを満喫。

16:30



古井戸が!?

こんなところに古井戸があったなんて、びっくり！

18:00



光の道に導かれ

海に沈みゆく夕日は絶景！辺り一面を夕日がつつみます。

日本の文化を体感!!
お寺でたくさん学んで、たくさん遊ぼう!
夏休みこども寺子屋



夏休みこども寺子屋実行委員会

☎0987-72-6568

080-5205-8424(徳永佳嗣)

E-mail:natsuyasumi.kodomoterakoya@gmail.com

URL : https://www.koyasan-gokurakuji.com/

- 実施時期/期間限定(主に8月の夏休み機関中)
- 所要時間/1日(9:00~16:00)
- 集合場所/極楽寺
- 料金/1,200円
- 定員/15名(小学1年~6年生)
- 準備物/かばん、タオルなど

お寺は昔、寺子屋として学びの場でもありました。
「夏休みこども寺子屋」では、お寺の掃除から始まり、お経を読んだり座禅をしたり、お茶や生け花など、日常から離れて普段できない貴重な経験ができます。昼食には、地元産の甘藷やオクラを使った精進料理を提供。お寺で日本の伝統文化を体験。夏休みに心に残るステキな思い出をつくりませんか？

トロピカルフルーツを堪能!!



完熟グアバ狩り & まるかじり体験



串間エコツーリズム推進協議会

☎0987-72-1111

(平日9:00~17:15)

E-mail:ecokushima@yahoo.co.jp

- 実施時期/期間限定(8月下旬~9月上旬)
- 所要時間/2.5時間(朝9:30集合)
- 集合場所/宮崎果汁
- 料金/高校生以上1,500円~小・中学生1,000円~
- 定員/15名
- 準備物/マイカップ、野外活動の服装、タオル、水筒、雨具(カッパ)、虫除け

恋ヶ浦で「ピンクグアバ」を栽培して36年。宮崎県の特産物にしようと開始したが、栽培方法、加工方法もわからぬまま始めました。経験と勘を頼り、そして様々な人のご支援とご協力もあり、全国、海外へグアバドリンクを広めています。

グアバ果樹園にてグアバの収穫体験と、獲れたてグアバのまるかじり体験。滅多に目にかかることなく、さらに味わうこともできないグアバを堪能しに来ませんか？



National Institute for Youth Education
NPO法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」
体験の風をおこそう

一緒に夏休みの楽しい思い出をつくりましょう。

こども寺子屋 代表
義方 吉郎さん

こども寺子屋では、日頃できないいろいろな経験ができます。私たちと一緒に楽しく学び、楽しく過ごしましょう。他の学校の友達もたくさんできますよ。わからないことがあったらなんでも聞いてください。みなさんの参加お待ちしています。

詳しくはコチラ!



宮崎果汁のグアバ、ぜひ、味わってください!!

宮崎果汁株式会社 代表取締役
大迫 成長さん

恋ヶ浦の「ピンクグアバ」をまるごと体験!とてもデリケートで2~3日しか日持ちしないため、果実を味わうことは難しいです。収穫、果実の丸かじり(試食)、ジュースの試飲といった貴重な体験ができます!

プログラムの流れ



Program

9:30



まずはお掃除から
綺麗になると気持ちがいいね
心もさわやかに!

10:00



心を静めて
素敵なお堂で座禅と読経体験
目を閉じて、じっとしてみる...

12:00



いただきまーす
精進料理ってどんなの?
地元産の野菜がたくさん!

13:30



日本の伝統文化を体験
午後は茶道や生け花を体験。その年によって落語などの特別企画も!

プログラムの流れ

Program

10:00



はじめまして
一緒に体験する皆さんと初対面
よろしくお願ひします。

10:20



とれたよ~!
完熟したグアバは手で簡単に収穫!!みてみて~!!

10:40



グアバジュースで一休み
他にも色々な南国ジュースを試飲してみよう!

11:00



グアバの実まるかじり
グアバの美味しいってこんな味なんだ!!
数量限定で購入も可。



森と海のあいだのトージバ

☎0987-77-0747

090-1362-0189(ワタナベ)

E-mail:ami1110@mrj.biglobe.ne.jp

URL:https://nabetoziba.wordpress.com

日本の渚100選石波海岸と野生猿の住む幸島のある市木地区。民家の敷地内で、一緒に暮らす日本在来馬『シマ』とのコミュニケーション(関係づくり)。朝夕に行う馬の世話(ブラッシング、干し草やり)や運動(調教)、引き馬、乗馬、馬フン堆肥の管理とそこから作られる野菜の収穫、敷地内にはツリーハウスやニホンミツバチの巣箱もあります。南国時間の流れる市木地区で、馬との関係づくりを通じて、森と海の間をより楽しんで見ませんか？

- 実施時期 / 期間限定3月から10月(冬季は休業)
- 所要時間 / 2時間
- 料 金 / 大人(18歳以上)4,000円
大学・小中高生3,000円
※宿泊者は各日1,000円引
※3名~5名以下1組1万円
- 定 員 / 6名
- 準 備 物 / 長ズボン、長靴、帽子、水分、軍手



ゆるやかに流れる時間を
体感しませんか？

森と海のあいだのトージバ ガイド
渡邊 尚さん

日本の渚100選にもえらばれる美しい石波海岸。沖から白く割れる波。家の敷地内と一緒に暮らすと那国馬のしま、ツリーハウスからのぞけるニホンミツバチの巣箱。馬の世話や乗馬、海でのサーフィンSUPや、カヤックなど、ご自身の心と体を使ってお楽しみください。

プログラムの流れ

Program

9:00



初対面

馬の居る農村の生活文化をのんびり満喫！

11:00



乗馬体験

のどかな農村風景で、ゆったり馬の背にゆられてリラックス。

12:30



TagiriHotelの美味しいランチ

地元の食材をふんだんに使ったランチでほっこり

14:00



ゆったりと浜辺を散歩

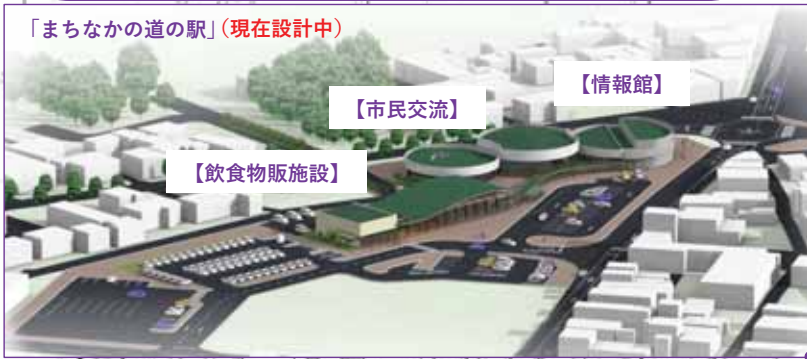
日本の渚百選・石波海岸は白い砂浜がキラキラ!!

参考資料2 「まちなかの道の駅」(仮称)概要

◆道の駅の主な導入機能

- 1) 情報発信機能
- 2) 市民活動交流機能
- 3) 地場産品提供機能
- 4) 防災機能
 - ・ 帰宅困難者受入れ機能
 - ・ 被災者情報収集発信機能
 - ・ 炊き出し等食事提供機能
 - ・ ボランティア受入れ機能 など

「まちなかの道の駅」(現在設計中)



串間市役所

複合施設

商店街再生エリア

商店街現状



旧吉松家住宅

市民広場

JR串間駅

JR日南線

国道448号

国道220号



串間市